

ZEB導入事例 現地見学会

経済産業省北海道経済産業局では、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の導入拡大を目的に、今後、建替計画のある自治体や民間のビルオーナーの方がZEBを検討する際の参考となる見学会を開催します。

民間建築事例

日時：**2022年9月9日（金）13:30～15:30**

見学先：**株式会社竹中工務店 北海道地区FMセンター**

（北海道札幌市中央区南20条西9丁目1-26）※公共交通機関でお越しください。

建物概要：地域特性に合った脱炭素化を図ったウェルネスオフィス。100%道産木の一般流通木材を構造部材に適用し、炭素を固定化。積極的なパッシブ技術や豊富な地下水を利用した設備システム等、様々な環境配慮技術を導入。



公共建築事例

日時：**2022年9月28日（水）13:30～15:30**

見学先：**大樹町役場**（北海道広尾郡大樹町東本通33）

建物概要：厳冬期には最低気温がマイナス20℃を下回る大樹町において、建物の高断熱化、高効率空調機（地中熱ヒートポンプ）等の技術を採用。再エネ活用・地域資源の循環を目的とした「スマート街区」の一部として、職員のみならず、来庁される町民にも省エネ意識を発信。



対象 庁舎などの建替を検討している自治体関係者や自社ビルの建替を検討しているビルオーナー等

定員 各回30名程度（各団体、原則2名程度までとさせていただきます）

現地集合・現地解散となりますのでご注意ください。

申込締切：2022年9月2日（金）

<https://www.hkd.meti.go.jp/hokne/20220809/index.htm>



開催趣旨

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、更なる徹底した省エネが求められている中、建築物の省エネは最終エネルギー消費の3割を占める民生部門（業務・家庭部門）において重要なテーマです。

2021年4月には規制措置が強化された改正建築物省エネ法が施行され、建築物の省エネ基準適合審査の対象が拡大されました。

更に、2021年10月に閣議決定された第6次エネルギー基本計画においても、2030年度に向けた民生部門の省エネ対策として、建築物の省エネルギー化に大きく貢献するZEBの普及拡大が掲げられました。

積雪寒冷地である北海道には、高断熱・高気密等の寒冷地の建築技術が集積しており、こうした技術をZEB導入に活かすことで、道内経済の活性化も期待されます。

そのため、道内で公共建築や民間ビルの建て替えを検討している関係者に対し、ZEBの導入を促すための現地見学会を開催いたします。

当日のスケジュール

○庁舎・施設の概要説明

オーナーやZEBプランナーから、建築にあたってのコンセプト、検討・採用に至った技術、建物にかかる思い、設計・建築にあたっての苦労、稼働後のデータや利用者からの生声等についてご紹介頂きます。

○庁舎・施設の見学

ZEB化にあたって、どこにどのような工夫があり、設備が配置されているのか、実際に建物内を見学します。見学にあたっては、2グループに分かれ少人数で回ることを予定しています。

○質疑応答

ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）とは

ZEB（略称：ゼブ）とは、①先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制（高断熱、日射遮蔽等）や、②パッシブ技術による自然エネルギー活用、③高効率設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、④再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、**年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物**。

ZEB導入により、**光熱費の削減はもとより、快適空間の創出、災害時の事業継続(BCP)、社員等への省エネ意識の啓発、CSR推進への効果等が期待**されます。

